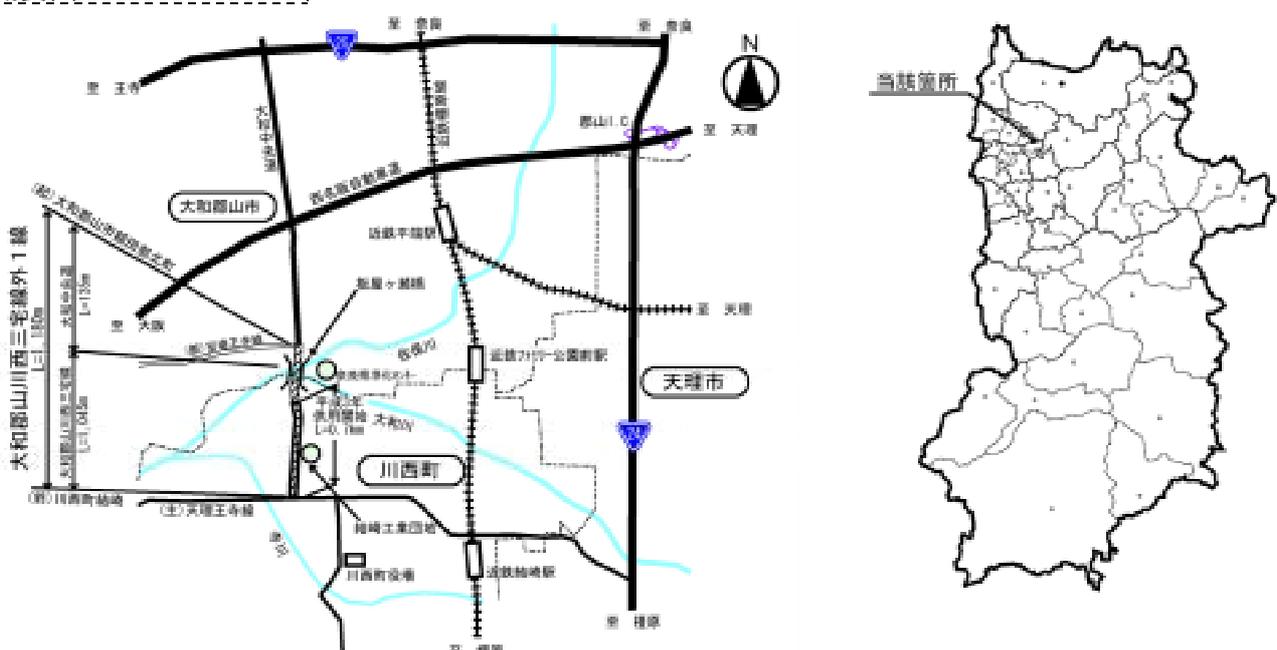


再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：近畿地方整備局 都市整備課
担当課長名：新階 寛恭

事業名 やまとこおりやまかわにしみやけせんほかいっせん 大和郡山川西三宅線外1線	事業区分 街路 (一般県道)	事業主体 奈良県
起終点 自：奈良県大和郡山市額田部北町 至：奈良県磯城郡川西町結崎	延長 1.2 km	
事業概要 本路線は、大和中央道の南端に接続し、国道24号バイパス線へ至る主要幹線道路である。当該区間は、このうち大和中央道から主要地方道天理王寺線に至る延長約1.2kmを4車線道路で整備するものである。		
S49年度事業化	S49年度都市計画決定 (H7年度変更)	S50年度用地着手
S53年度工事着手		S53年度工事着手
全体事業費 38億円		事業進捗率 90%
計画交通量 46,200台/日		供用済延長 0.7 km
費用便益分析結果 B/C (事業全体) : 6.3 (残事業)	総費用 (残事業)/(事業全体) 59億円 (事業費 : 57.81億円) (維持管理費 : 1.19億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 369億円 (走行時間短縮便益 : 418.28億円) (走行費用減少便益 : -44.60億円) (交通事故減少便益 : -4.94億円)
基準年 平成15年		
事業の効果等 ・物流効率化の支援（周辺にある結崎工業団地から一般国道25号へのアクセスが向上し、大型車・貨物車による輸送の定時性が図られる。） ・災害への備え（緊急輸送道路に位置づけられ、ライフライン拠点である第一浄化センターと他の防災拠点との連絡強化を図ることが出来る。）		
関係する地方公共団体等の意見 大和郡山川西三宅線外1線は、旧板屋ヶ瀬橋が老朽化しており、当初から旧橋の架替(2車線→4車線)が望まれていた。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 事業着手時のS50年からS61年にかけて沿道の結崎工業団地に大規模な工場が立地し、一般国道25号へのアクセス道路として大型車、貨物車両等の交通量が年々増加している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 工事については、板屋ヶ瀬橋(上流橋)の下部工、上部工と取付区間の工事を残すのみである。		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る工事についても順次進めていき、平成17年度に全線供用予定である。		
施設の構造や工法の変更等 特になし。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。		
事業概要図		
		

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。